

# 再生エネルギー普及、分岐点

脱原発や再生可能エネルギーの普及を進める上で、今回の東京都知事選の影響は極めて大きい。

都知事は一自治体の首長という以上に全国の自治体がその動向を注目しているし、国のエネルギー政策へも影響を及ぼす。

都民には首長を選ぶだけでなく、今後の日本のエネルギー政策への影響も考えてほしい。

大学卒業後、環境問題や省エネルギー、太陽光などの自然エネルギーの

普及に取り組んできた。数年前から家には白LEDと

二十ワットの太陽光パネルを設置している。パソコン、冷蔵庫、洗濯機などの電気をまかなっている。電気代も月千二百円ぐらいで生活できないことはない。

原発の危険性も訴えてきたつもりだったが、東日本震災と福島第一原発の事故を経験して、再生可能エネルギーへの転換が間に合わなかったと痛感した。

ここ一、二年が日本が

再生可能エネルギーへの転換ができるかの分かれ目になる。原発の危険性を認識した人たちも増えており、今がチャンスだ。原発をなくすと経済が成り立たないと主張する

人がいるが、再生可能エ

ネルギーは新たな経済を生み出せる。中国は原発も増えているが、風力や太陽光など再生可能エネルギーにも参入している。日本も技術力を開発して新しい産業をつくれ

ば雇用もうまれる。この

分野でアジアや世界をリードすることができる。脱原発によって放射性廃棄物を減らすことは、経済的にも環境的にも未来への負担を減らすことにつながる。

再生可能エネルギーの普及は東京だけでなく、千葉にもメリットはある。県内では銚子沖で洋上風力発電の実験が進んでいるほか、メガソーラーの設置も進んでいる。

東京という大きな消費地のエネルギー供給地になることができる。東京のエネルギー政策が国の方向性を決めるという意識を持って都民には投票に行ってもらいたい。

## もの申す

10月22日

— 都知事選へ —

中

## 市民団体代表 東光弘さん(48)



ひがし・みつひろ 1965年東京都生まれ。大学卒業後、都内で自然食品を扱う店を開くなど環境、エネルギー問題の活動を続けてきた。2012年、千葉市内で自然エネルギーの普及に努める市民団体「グリーントールズ」を立ち上げ、代表を務める。千葉市美浜区在住。